

環境エネルギー一部

# 環境・地域エネルギー課

課長 鈴木 博史

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境・地域エネルギー課	課CD	19100000
-----	----------	----	-------------	-----	----------

事務事業名	環境基本計画進行管理
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	4	防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
環境基本計画の実施状況を調査・審議する、有識者等による審議会を開催するとともに、進行管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 環境審議会 環境基本条例のもと、環境審議会において計画の実施状況を調査・審議(令和2年度は、4回開催)
2 環境基本計画の進行管理 第3次松本市環境基本計画を推進するため、各部署が実施する事業の進行管理を行い、施策に反映
3 職員研修 環境行政を担う人材育成の一環として、環境省環境調査研修所が実施する研修会等に参加
4 第4次環境基本計画の策定準備 第3次環境基本計画が令和2年度で終了することから、第4次環境基本計画策定に向け協議を実施(第4次環境基本計画は令和3年8月策定予定)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 継続・縮小・廃止 ・第4次松本市環境基本計画は、環境の保全等に関する総合的かつ長期的な目標、施策の大綱及び環境への配慮の指針を定め、第11次基本計画の環境面での実現を支えるものであることから、継続して進行管理を行い、計画を推進する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	環境基本計画の指標61項目のうち、目標の70%以上達成している項目数				
指標の設定理由	環境基本計画の進捗状況を示すため				
目標値	48	48	48	48	48
実績値	49	55	55	52	48
達成度	102.1%	114.6%	114.6%	108.3%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	830	596	0	0	980	
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	830	596	0	0	980	
② 人件費(千円)	6,152	人工 3,795	人工 3,775	人工 7,600	人工 7,490	
正規	6,152	0.8	0.5	1	1	
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	6,982	4,391	3,775	7,600	8,470	
前年度比	—	62.9%	86.0%	201.3%	111.4%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	地球温暖化防止事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	4	防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	○ 二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり	
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略	⑦再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地球温暖化防止事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H13 ~

深刻化する地球温暖化問題に対し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を促すとともに、効率的な運用によりエネルギー使用量の削減を図るため、各種施策を展開するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地球温暖化対策実行計画推進事業  
地球温暖化対策実行計画(平成28年度改訂版)に基づく進行管理の実施
- 再生可能エネルギー地産地消推進事業  
再生可能エネルギー地産地消推進計画に基づく進行管理の実施
- 温暖化対策に資する補助金の交付  
R2年度は、住宅用太陽光発電設備、省エネ設備等へ、68,604千円を補助し、約700t-CO2/年を削減
- 松本市役所エコオフィスプラン進行管理  
R2年度の市事務事業全体のCO2排出量は31,501tで削減目標を達成した。各課のCO2排出量や紙の使用量等を把握し削減アドバイスを実施した。また、松本市環境配慮型公共施設整備指針の運用管理を実施した。
- 木質バイオマス熱利用推進事業  
竜島温泉へ導入したトップボイラーの運用及び民間への普及啓発の実施
- 市施設低炭素化推進事業7 世界首長誓約/日本への署名  
令和2年1月、市長は世界首長誓約/日本へ署名し、パリ協定への目標達成に地域から貢献することを表明した。
- 気候非常事態宣言・2050ゼロカーボンシティ表明  
令和2年12月に、市長は気候非常事態宣言・2050ゼロカーボンシティ表明を行った。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 (拡充)・継続・縮小・廃止  
・再生可能エネルギーの地産地消を推進するため、事業者、金融機関、専門家、大学、行政等のパートナーシップによる推進組織が、再生可能エネルギーの具体的な事業化を推進する。  
・引き続き、再生可能エネルギーを導入し収益を得る事業者への補助の実施していくほか、住宅用太陽光発電設備や蓄電池、省エネ設備への設置補助にV2Hへの補助を加え、拡充する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーによる最大出力(固定価格買取制度導入容量)(kW)				
指標の設定理由	再生可能エネルギーによる発電設備の市域全体の導入量が増えるため				
目標値	82,474	90,356	98,237	106,119	114,000
実績値	86,862	92,460	104,076	113,862	115,178
達成度	105.3%	102.3%	105.9%	107.3%	101.0%
② 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーを活用して事業を興す事業者				
指標の設定理由	再エネ産業の育成が再生可能エネルギー地産地消推進計画の基本方針の中にあるため				
目標値	0	1	2	3	4
実績値	0	1	1	1	1
達成度	-	100.0%	50.0%	33.3%	25.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	46,637	110,876	153,300	106,880	70,270					
国・県	1,501	9,942	44,570							
利用者負担金										
その他										
一般財源	45,136	100,934	108,730	106,880	70,270					
② 人件費(千円)	24,608	人工	22,770	人工	25,600	人工	25,780	人工	28,530	人工
正規	24,608	3.2	22,770	3	22,650	3	22,800	3	22,470	3
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	2,950	1	2,980	1	6,060	2
合計コスト①+②	71,245	133,646	178,900	132,660	98,800					
前年度比	-	187.6%	133.9%	74.2%	74.5%					

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境・地域エネルギー課	課CD	19100000
-----	----------	----	-------------	-----	----------

事務事業名	清掃業務管理(松塩地区広域施設組合負担金)
-------	-----------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理のため、松塩地区広域施設組合に分担金を支出するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設(ラーラ松本)等の管理・運営業務料として、負担金を支払う。

1 令和2年度実績

- (1) 松本クリーンセンターごみ搬入量(松本市分、可燃ごみのみ)  
75,888.04 トン
- (2) あずさセンターし尿等投入量(松本市分)  
8,609.6 キロリットル
- (3) ラーラ松本利用者数  
248,652 人
- (4) 負担金  
1,211,883,432 円  
(内訳)建設費(積立金) 227,365,000 円  
建設費(償還金) 248,717,432 円  
管理運営費 715,103,000 円

2 新焼却炉の令和11年度供用開始を目指し、令和2年度は、新ごみ処理施設建設候補地を現松本クリーンセンター周辺とすることについて、地元町会等に受入れの合意を得るとともに、覚書を締結

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 ・一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理が行われていると認識している。  
 ・ごみの減量化と生活排水の適正な管理を行うため、ごみ展開検査の実施、ごみ持込み時の排出元市町村の確認等、引続き組合と連携して施策を実施していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,011,556		946,154		1,063,776		1,136,769		1,211,884	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,011,556		946,154		1,063,776		1,136,769		1,211,884	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工	749	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,012,325		946,913		1,064,531		1,137,529		1,212,633	
前年度比	—		93.5%		112.4%		106.9%		106.6%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境・地域エネルギー課	課CD	19100000
-----	----------	----	-------------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4	防災・SDGs	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり		
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり		

<事業の狙い>

事業計画年度	H20 ~
--------	-------

廃棄物の適正な処理の促進及びごみ排出量の計画目標を達成するため、一般廃棄物処理計画の進行管理を行い、また、一般廃棄物処理実施計画を策定して、ごみ減量化施策を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 一般廃棄物処理計画(2018~2027年度版)の進行管理  
松本市一般廃棄物処理計画を推進するため、各年度のごみ排出量を公表し、また、実施する事業の進行管理を行い、施策に反映する。
- 一般廃棄物処理実施計画策定  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎年度、実情に応じた一般廃棄物の処理に関する事項を定める実施計画を策定する。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

- 本市の年間ごみ排出量は、平成23年度以降減少傾向にあったが、令和元年度には増加した。県内他市と比較すると、一人一日あたりのごみ排出量が依然として多く、特に事業系ごみの減量が喫緊の課題となっている。
- ごみ減量に向け、3Rのうち、特にリデュース・リユースの一層の推進を図る。
- 食品ロス削減やプラスチックごみ削減に向けた施策を推進するとともに、環境教育等による市民意識向上を図る。

<指標の達成状況>

	総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(単位:g/日)					
指標の設定理由	本事務事業は、ごみの減量を指向したものであるため。					
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980	
実績値	1,042	1,039	1,009	1,024	1,004	
達成度	98.98%	98.96%	99.00%	98.97%	99.0%	
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	6,413	6,997	7,781	9,215	8,302					
国・県	2,368	2,400	2,283	1,100	1,100					
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,045	4,597	5,498	8,115	7,202					
② 人件費(千円)	4,899	人工	12,722	人工	4,825	人工	4,858	人工	4,797	人工
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4,530	0.6	4,560	0.6	4,494	0.6
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	285	0.1	578	0.2	295	0.1	298	0.1	303	0.1
合計コスト①+②	11,312	19,719	12,606	14,073	13,099					
前年度比	—	174.3%	63.9%	111.6%	93.1%					

# 事務事業評価票

部署名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

## <予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

## <第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

## <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

## <事業の狙い>

事業計画年度

H20～

松本市一般廃棄物処理計画の推進を図るため、「もったいない」をキーワードとして3R(リデュース・リユース・リサイクル)に係る事業を実施するもの。松本キッズ・リユースひろば事業については、ごみの減量化及び子育て支援を事業目的としている。

## <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本キッズ・リユースひろば事業  
使用期間の短い子ども服や育児用品を地域づくりセンター等市内26か所で無料回収し、必要としている子育て世帯に無料で配付(配付会を年間5回開催、延べ1,408世帯が参加)  
※6回開催予定中、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  
5回は規模を縮小等して実施
- 不用食器リサイクル事業  
市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布(リユース)し、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う。市の役割として回収食器の運搬及び再資源化費の負担並びに事業のPR等を実施。  
※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 松本山雅3R推進デー事業  
市民の注目度の高い松本山雅FCのホームゲームにおいて、本市の協賛による「松本市3R推進スペシャルマッチ」を開催し、ピッチ内イベント、啓発動画放映、ブース出展等の様々な啓発を実施(令和2年度対象試合:アルビレックス新潟戦(12/6(日)、来場者数7,560人、ブース来場者数790人)

## <現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
【松本キッズ・リユースひろば】参加者の約7割がアンケートで「満足」と回答しており、リユースを通じて「もったいない」意識の醸成につながっている。リピート率も8割を超えており、課題を改善しつつ事業を継続する。  
【不用食器リサイクル事業】コロナ禍により中止となったが、市民からの問合せ等も多く、事業の浸透と開催の要望がうかがえる。市民団体との協働事業として、現状の規模で事業を継続していく。  
【松本山雅3R推進デー事業】R2年度に実施した際のアンケートで一定の成果が見られたことから、啓発内容を見直しつつ継続し、3Rや環境に配慮したライフスタイルの定着を図る。

## <指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付重量(トン)				
指標の設定理由	本事業は、ごみの減量に向けた取組みであるため。				
目標値	7.0	12.0	12.0	12.0	12.0
実績値	13.0	15.1	15.9	12.1	10.4
達成度	185.7%	125.8%	132.5%	100.8%	86.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

## <コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	6,413		6,997		7,781		9,215		8,302	
国・県	2,368		2,400		2,283		1,100		1,100	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,045		4,597		5,498		8,115		7,202	
② 人件費(千円)	5,184	人工	12,722	人工	5,120	人工	5,156	人工	5100	人工
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4,530	0.6	4,560	0.6	4494	0.6
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②	11,597		19,719		12,901		14,371		13,402	
前年度比	—		170.0%		65.4%		111.4%		93.3%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人によさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	4	防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23 ~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制などを推進するため食品ロス削減事業等に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取組みを進めるため、「残さず食べよう！30・10運動」を広報まつもとやSNS等で周知
- 残さず食べよう！推進店・事業所認定制度  
令和2年度末認定数 推進店224店、106事業所 計330
- フードドライブ  
開催回数13回、寄贈食品数9,155個
- 食品ロスになる可能性がある食品を市内事業者から買取り、ECサイトで販売するフードシェアリングサービスの導入開始(㈱クラダシとの連携)
- 松本市食品ロスオンラインラボ  
「松本市食品ロス削減推進計画」の策定について発信し、市内の食品ロス削減の機運を高めるために、2月27日に松本市食品ロスオンラインラボを開催(約80名参加)
- 松本市食品ロス削減推進計画の策定  
これまでの食品ロス削減に関する取組みを踏まえ、市民・事業者・行政の役割を明確化し、更なる食品ロス削減を目指す。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止  
 ・R元年度に実施した市民アンケート調査及び一般廃棄物組成・食品ロス調査の結果から、市民への認知度は上昇しているが、食品ロス削減量は十分とは言えないことがわかる。市民や事業者への実践を促す施策を実践していく。  
 ・各省庁や全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会の協力を得ながら、本市の取組事例などをイベント等で情報発信し、浸透・拡大を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数				
指標の設定理由	食品ロス削減の取組みの市民への広がりを示す指標であるため				
目標値	100	150	175	270	300
実績値	111	177	246	270	330
達成度	111.0%	118.0%	140.6%	100.0%	110.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	7,894	11,912	3,046	4,641	2,641					
国・県	1,429	160	145	145	148					
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,465	11,752	2,901	4,496	2,493					
② 人件費(千円)	8,459	人工	14,240	人工	8,140	人工	8,196	人工	8096	人工
正規	8,459	1.1	13,662	1.8	7,550	1	7,600	1	7,490	1
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	0		578	0.2	590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②	16,353	26,152	11,186	12,837	10,737					
前年度比	—	159.9%	42.8%	114.8%	83.6%					



事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人によさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4 防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した取組みを行っている事業所を推進するため、ecoオフィスまつもと認定事業所として認定するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

第3次松本市環境基本計画に定める5つの柱において、事業者に望まれる取組みを推進するため、申請のあった事業所を環境に配慮した取組内容に応じて評価し、ecoオフィスとしてランク別に認定

- 新規認定事業所として3社認定 合計27社
- 優秀事業所として3社を表彰 累計7社(H30から)
- チラシの配布、広報、ラジオ、SNS等で周知啓発

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
目標値を達成しておらず、さらなる周知やインセンティブが必要。環境に配慮した事業所としての意識を高め、認定事業所として申請いただくため、SNS、広報誌への掲載、ラジオ等、引き続き積極的にPR活動を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ecoオフィスまつもと新規認定事業所数				
指標の設定理由	環境に配慮した取組みを行っている事業所を示す指標の1つであるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	7	4	2	3	3
達成度	140.0%	80.0%	40.0%	60.0%	60.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		211		20		30		40	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		211		20		30		40	
② 人件費(千円)	769	人工	1,337	人工	1,345	人工	1,356	人工	1,355	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	0		578	0.2	590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②	769		1,548		1,365		1,386		1,395	
前年度比	—		201.3%		88.2%		101.5%		100.6%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	環境基本計画推進事業(環境教育)
-------	------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人によさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	防災・SDGs
主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会や学習会、小中学校での環境学習、園児や小学生を対象とした参加型環境教育などを実施するなど環境負荷軽減に向けた活動を拡大するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 参加型環境教育事業  
園児と小学校3年生を対象に、ごみの分別や食べ残しをテーマにクイズ等のやりとりを交えた参加型環境教育を実施するもの  
(実施数 保育園、幼稚園等53園、小学校27校)
- エコスクール事業  
幅広い世代が参加できるように、自然体験や環境保全をテーマとした環境講座を実施するもの(講座開催数10回、参加人数 延べ145人)  
※新型コロナウイルス感染症予防のため事業中止や規模を縮小して開催したことで実績減となったが、ほぼ全ての講座で募集人員を超える申込みがあり市民のニーズは高い
- 小中学校環境教育支援事業  
小中学校へ、環境分野の専門性を持つ企業・団体等が講師となる「環境学習プログラム」の紹介を行うもの  
(実施校数 20校、実施回数 50事業、参加人数 延べ2,512人)
- 子ども向け環境基本計画啓発資料の配布  
小学校4年生に環境基本計画を解説したハンドブックを配布し、授業等で活用を推進するもの

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・参加型環境教育事業は、子どもの意識変化だけでなく、家庭への波及効果も確認されている。実施園や小学校の意見も取り入れて、プログラム等を精査し、継続して実施する。  
・エコスクールや小中学校環境教育支援事業は、豊かな自然環境や「体験」を通じた新たな発見の機会を提供しており、コロナ下においても小中学校環境教育支援事業はR2年度は実績増となった。市民の環境に対する意識が高くなっていることから、今後も継続して実施する。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	園児を対象とした参加型環境教育の園児の意識変化の割合				
指標の設定理由	本事業は、環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	65	65	65	65	65
実績値	48.5	49.8	53.2	49.0	50.9
達成度	74.6%	76.6%	81.8%	75.4%	78.3%
② 成果指標(指標名)	エコスクール参加人数				
指標の設定理由	本事業は、幅広い世代対象の環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	330	330	330	330	330
実績値	367	322	410	294	145
達成度	111.2%	97.6%	124.2%	89.1%	43.9%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	2,353	2,643	4,688	906	748
国・県	1,887		962		
利用者負担金					
その他					
一般財源	466	2,643	3,726	906	748
② 人件費(千円)	10,454	人工 10,372	人工 10,370	人工 10,446	人工 10,360
正規	8,459	1.1 8,349	1.1 8,305	1.1 8,360	1.1 8,239
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	1,995	0.7 2,023	0.7 2,065	0.7 2,086	0.7 2,121
合計コスト①+②	12,807	13,015	15,058	11,352	11,108
前年度比	—	101.6%	115.7%	75.4%	97.9%

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名 災害廃棄物対策事業

＜予算上の位置付け＞  
 会計名  
 予算中事業名

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	4	防災・SDGs		
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み	○	二酸化炭素排出の削減、強靱なまちづくり		
基本施策(個別目標)	321	危機管理体制の強化	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略				

＜事業の狙い＞ 事業計画年度 H29 ～  
 近年、地震や水害が多く発生しており、早急に現実的かつ着実な災害廃棄物対策を進めていくことが求められていることから、平成30年度に策定した災害廃棄物処理計画を、より実効性の高い計画になるよう、適宜点検と見直しを行っていく。また、平時から市民の方に災害時のごみ処理について理解してもらうため周知啓発を行う。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞  
 1 災害廃棄物処理計画策定事業  
 【平成29年度～平成30年度】  
 (1) 環境省中部地方環境事務所の「平成29年度中部ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業」により、災害廃棄物処理計画を策定する上での基礎調査を実施  
 (2) 基礎調査の結果を基に、平成31年2月に松本市災害廃棄物処理計画を策定  
 【令和元年度】  
 (1) 災害時のごみ処理について記載した市民向けハンドブックを全戸配布  
 (2) 環境衛生協議会、防災部長等に対し研修を実施し周知・啓発を図る。  
 (3) 非常時優先業務マニュアルの中の災害廃棄物対策マニュアルを災害廃棄物処理計画の内容に沿って修正  
 【令和2年度】  
 (1) 市で設置する一次仮置場候補地の庁内調整及び選定  
 (2) 市民が設置する市民仮置場候補地の選定について町会連合会理事会を通じて各町会へ依頼  
 (3) 初動段階における災害廃棄物仮置場の設置運営に必要な資機材(立看板等)の一部について配備

＜現状に対する認識＞  
 第11次基本計画での方向性 拡充 継続・縮小・廃止  
 ・災害廃棄物を適正かつ円滑に処理するためには市民の協力が必要不可欠であるが、仮置場等に対する認識が低いと、市民仮置場候補地を町会が選定する取組みへの協力や防災訓練等での出前講座を実施し、周知啓発に努める。  
 ・災害に対するレジリエンスを高めるため、関係法令や国の対策指針の改定による新たな知見を取り込みつつ、地域防災計画や被害想定等、本計画に係る諸条件の変更に合わせて点検・改定を行い実効性を確保していく。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	松本市で生活している中で感じる魅力・良さ「防災・減災対策」と回答した割合					
指標の設定理由	平時から災害廃棄物対策を意識してもらうことが重要であるため。					
目標値			2.7	2.7	2.7	
実績値			2.7	2.7	2.7	
達成度			100.0%	100.0%	100.0%	
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	0	0	5,070	1,170	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			5,070	1,170	
② 人件費(千円)	0	人工 759	人工 6,040	人工 2,280	人工 2,247
正規	0	759	0.1	6,040	0.8
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	759	11,110	3,450	2,247
前年度比	—	—	1463.8%	31.1%	65.1%

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境・地域エネルギー課 課CD 19100000

事務事業名	生物多様性保全事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生物多様性保全事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	423	生物多様性保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

生きものの恵みを将来世代も受け取れるよう、松本市生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」の基本方針である「学習し、広める」「想像し、考える」「実践し、活かす」に沿って生物多様性の保全を推進し、多様な環境に育まれた、生きものあふれる豊かな自然の維持と再生をめざすもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ゴマシジミ保護回復事業  
国内希少野生動植物種に指定され、地元も保護活動に積極的な奈川地区のシンボルでもあるゴマシジミを保護するもの。  
令和2年度実績: 市民調査員による生息状況調査を実施(8～9月)
- 生物多様性モニタリング調査  
生物多様性保全事業に関する指標とするため、地点を定めて継続的に生物調査を行うもの。  
令和2年度実績: 島内地区の車屋せぎで水生生物等の調査を実施
- 市民参加型環境調査  
調査をとおして生き物に興味を持ってもらい、市民が生物多様性について考えるきっかけとなることをねらいとして実施するもの。  
令和2年度実績: 市民カエル調査を実施し、136人の報告があった。
- 松本市生物多様性地域戦略の見直し  
令和2年度末に策定から5年が経過することから見直しを実施  
今回の見直しではモニタリング指標のみを見直した。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止  
○松本市環境審議会や市民団体から松本市生物多様性地域戦略の推進体制の強化や行動計画の策定について要望・意見が出ており、一層の取組みが必要である。  
○世界の潮流として自然と共生する社会の実現を目指していくこととなり、地方自治体としても生物多様性の保全と持続的な利用を推進していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	生物多様性の保全活動への参加人数				
指標の設定理由	生物多様性保全の重要性を理解し、実践することにつながるため。				
目標値	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
実績値	7,516	6,159	7,369	9,354	3,329
達成度	123.2%	101.0%	120.8%	153.3%	54.6%
② 成果指標(指標名)	希少種保護活動への支援箇所数				
指標の設定理由	支援することにより、希少種の保護回復が望めるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	1
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	98		1,062		994		846		896	
国・県			796		745		633			
利用者負担金										
その他										
一般財源	98		266		249		213		896	
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	4,530	人工	4,614	人工	5,992	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	4,530	0.6	4,614	0.6	5,992	0.8
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	4,712		5,616		5,524		5,460		6,888	
前年度比	—		119.2%		98.4%		98.8%		126.2%	

# 環境保全課

課長 栗田 正和

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	地下水対策事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地下水対策事業

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約				
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	S60～
地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 市所有の3力所(清水、島立、今井)の観測井で地下水水位を365日24時間連続測定
2 観測記録の集計整理 各井戸で測定した結果を集計、解析し、地下水保全対策の基礎資料とする。
3 令和2、3年度松本市地下水水位一斉測水調査 地下水水位及び地下水質調査により地下水水位等高線や地下水賦存量の算出を行い、松本市域の地下水の現況を把握するとともに、地下水利用実態調査結果と併せて、今後の地下水保全施策を展開する基礎資料とする。

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止
・広域的な地下水保全施策のための基礎調査を担っているものと認識
・アルプス地域地下水保全対策協議会等で情報共有し、広域的な地下水保全施策の検討を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地下水水位常時観測井戸数				
指標の設定理由	適切な観測場所を継続して監視するため。				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	3
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		399	392	392	1,370	4,246
	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	399	392	392	1,370	4,246
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工
	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3
	5992	人工	5992	人工	5992	人工
	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	2,706	2,669	2,657	3,677	10,238	
前年度比	—	98.6%	99.6%	138.4%	278.4%	

事務事業評価票

事務事業名	家庭雑排水対策
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	家庭雑排水対策費

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
公共用水域の水質保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 合併処理浄化槽設置整備事業 公共下水道処理区域外地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するもの。公共下水道に接続する場合と比較して合併浄化槽を設置した世帯の負担が高くないように、国、県、市で補助するもの R2実績 … 4基 1,519千円
2 合併処理浄化槽清掃事業 法令で定められた浄化槽清掃を行う者に対し、年1回に限り補助金を交付するもの。設置と同様に公共下水道接続施設の世帯と比較した場合の経済的負担を軽減するもの R2実績 … 222基 3,730千円
3 家庭雑排水簡易浄化槽汚泥清掃事業 家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金負担を軽減するもの R2実績 … 526件 630千円

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・ <b>継続</b> ・縮小・廃止 ・家庭雑排水の適正処理により、公共用水域の水質保全が保たれている。家庭雑排水の適正処理をより推進するため、今後も事業を継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	家庭雑排水適正処理の指標として				
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%
実績値	98.7%	99.0%	99.2%	98.9%	99.1%
達成度	100.6%	100.8%	100.7%	100.3%	100.4%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞						
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	13,631	13,993	11,031	6,873	7,687	
国・県	4,720	5,629	3,430	2,319	2,264	
利用者負担金						
その他						
一般財源	8,911	8,364	7,601	4,554	5,423	
② 人件費(千円)	3,691	3,643	3,624	3,648	3,595	
正規	3,691	0.48	3,643	0.48	3,624	0.48
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	17,322	17,636	14,655	10,521	11,282	
前年度比	—	101.8%	83.1%	71.8%	107.2%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	四賀地域排水施設管理
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地域排水施設管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共下水道処理区域外における、公共用水域の水質保全のため。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 四賀第2・第3浄化施設維持管理事業  
四賀地区で宅地分譲した団地の汚水を適正に集合処理するため、大型の  
合併処理浄化槽で維持管理を行うもの
- 施設概要  
四賀第2浄化施設(五常) 井刈団地 80人槽  
四賀第3浄化施設(反町) 反町団地 100人槽

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)縮小・廃止  
・汚水の適正処理により、公共用水域の水質保全が保たれている。汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	施設利用率				
指標の設定理由	対象世帯の施設利用により、公共用水域の水質を保全するため				
目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,704		1,788		2,236		2,391		2,147	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,704		1,788		2,236		2,391		2,147	
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	378	人工	380	人工	375	人工
正規	385	0.05	380	0.05	378	0.05	380	0.05	375	0.05
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	2,089		2,168		2,614		2,771		2,522	
前年度比	—		103.8%		120.6%		106.0%		91.0%	



事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(長野県合併処理浄化槽普及促進協議会)
-------	------------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

合併処理浄化槽の設置を推進するため、行政機関で構成する団体の一員として合併処理浄化槽の普及・啓発活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 協議会の概要

(1) 会員数 65市町村

(2) 負担割合

ア 市(5万人以上) 41,000円

イ 市(5万人未満) 25,000円

ウ 町村 16,000円

2 主な活動

研修会の開催、補助枠拡大のため国・県への要望活動、参考書籍の配布

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

・合併処理浄化槽の設置を推進するため、今後も活動を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	快適生活率				
指標の設定理由	合併処理浄化槽設置により向上する、家庭雑排水の適正処理率を指標とした。				
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%
実績値	98.7%	99.0%	99.2%	98.9%	99.1%
達成度	100.6%	100.8%	100.7%	100.3%	100.4%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	41		41		10		41		41	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	41		41		10		41		41	
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工	76	人工	75	人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01	76	0.01	75	0.01
会計年度任用(アルバイト、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	118		117		86		117		116	
前年度比	—		99.2%		73.1%		136.8%		99.1%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働を進める。また、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 年2回の「河川をきれいにする会」による18河川一斉清掃の支援。各河川の清掃や総会開催等の事務の補助をするもの
- 中心街を流れる女鳥羽川の清掃委託業務や堰清掃委託業務を行い、河川美化を行うもの
- 特定外来生物の周知及び駆除活動を行うもの

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 ・身近な河川の美化・浄化活動を推進するため、支援を継続していく。  
 ・高齢化に伴い参加者が減少しているなかで、高校や地元企業等に対し、活動を広くPRし、協力をお願いしていく。

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川美化活動参加のべ人数				
指標の設定理由	河川美化・浄化活動の指標として				
目標値	29,000	30,000	31,000	32,000	32,300
実績値	28,920	24,723	25,981	33,870	15,013
達成度	99.7%	82.4%	83.8%	105.8%	46.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,934		4,274		4,362		4,578		4,293	
国・県	0		0		0		0		0	
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,934		4,274		4,362		4,578		4,293	
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工	5,320	人工	5,243	人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7	5,320	0.7	5,243	0.7
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	10,317		9,587		9,647		9,898		9,536	
前年度比	—		92.9%		100.6%		102.6%		96.3%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	葬祭センター管理運営
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	葬祭センター管理運営費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市営葬祭センターは、市内唯一の火葬場として、市民の火葬需要に応えるもの。  
施設運営は、指定管理体制を導入しているため、この関係事務を行うとともに、施設が正常に稼働するよう施設の改修、更新工事を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 遺体の火葬  
年間人体火葬件数 2,634件(死産児、胞衣を含む。)
- 動物(犬・猫等)の火葬  
動物火葬件数 1,336件
- 改修・補修工事  
(1) 火葬炉改修(4炉及び動物炉)  
(2) 火葬炉セラミック化(1炉)
- 現指定管理者概要  
(1) 新潟県新潟市北区島見町3307番地16  
富士建設工業(株) 代表取締役 鳴海 利彦  
(2) 指定管理料  
105,464,394円  
(3) 期間  
令和2年度～令和6年度の5年間
- 評価  
施設内の新型コロナウイルス感染防止対策、施設維持管理も適正に行われている。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
・市内の火葬需要には、ほぼ応えている。  
・また、指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。  
・新型コロナウイルス感染防止対策、施設維持管理も適正に行い、年末・年始の休業日以外は、保守点検等の時間を除き、火葬を休止することなく実施している。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	人体火葬件数				
指標の設定理由	最も中心となる業務であるため				
目標値					前年と同程度
実績値	2,582	2,620	2,632	2,606	2,634
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	130,853		139,167		118,400		151,497		147,710	
国・県										
利用者負担金	35,678		35,643		33,831		33,003		32,384	
その他										
一般財源	95,175		103,524		84,569		118,494		115,326	
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,518	人工	1,510	人工	2,280	人工	2,247	人工
正規	1,154	0.15	1,518	0.2	1,510	0.2	2,280	0.3	2,247	0.3
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	132,007		140,685		119,910		153,777		149,957	
前年度比	—		106.6%		85.2%		128.2%		97.5%	

事務事業評価票

事務事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

松本市営葬祭センター所在の町会に対して無償貸付を行っている公民館施設の管理運営に関することを町会と協議しながら行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 消防施設点検 2回
- 2 借地料の支出 1回
- 3 市長との懇談会 1回
- 4 駐車場下物入等修繕の実施

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
 葬祭センター所在の町会から施設運営に関し協力を得るうえでは欠かせない施設であり、現在町会との関係は良好である。

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,911		1,266		3,195		623		915	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,911		1,266		3,195		623		915	
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工	1,133	人工	380	人工	749	人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,133	0.15	380	0.05	749	0.1
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	5,065		2,405		4,328		1,003		1,664	
前年度比	—		47.5%		180.0%		23.2%		165.9%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	負担金(安曇野松筑広域環境施設組合)
-------	--------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

2市4村で共同処理を行っている一部事務組合所管の広域豊科葬祭センターの管理運営方針及び予算案を協議し、松本市負担金の支出を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 会議	
(1) 組合議会	2回
(2) 理事会	2回
(3) 担当課長会議	3回
2 会議の主な議題	
(1) 令和元年度決算	
(2) 令和2年度補正予算	
(3) 令和3年度当初予算	
(4) 条例改正	2件
(5) 指定管理者制度導入の検討	
3 広域豊科葬祭センターの松本市市民利用実績	
(1) 人体火葬件数	168件
(2) 動物火葬件数	312件
4 評価	
広域豊科センターは、松本市営葬祭センターを補完する施設として重要(四賀地区を中心に一定の利用者がある)	

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 ・広域豊科葬祭センターは、松本市営葬祭センターを補完する施設として重要である。また、四賀地区は地理的条件で松本市営葬祭センターより近いため、特に利用者が多い。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	人体火葬件数				
指標の設定理由	最も中心となる業務であるため				
目標値					前年と同程度
実績値	189	193	193	188	168
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	22,979		12,882		12,413		12,633		12,460	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,979		12,882		12,413		12,633		12,460	
② 人件費(千円)	1,923	人工	1,518	人工	1,888	人工	1,140	人工	1,123.5	人工
正規	1,923	0.25	1,518	0.2	1,888	0.25	1,140	0.15	1,123.5	0.15
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	24,902		14,400		14,301		13,773		13,584	
前年度比	—		57.8%		99.3%		96.3%		98.6%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	公害対策関係
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公害対策関係費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁、大気汚染などの少ない、快適な生活環境の向上をめざすもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市内の河川や湖沼などの水質の調査 (36カ所)
- 市内の河川の水生生物を指標とした水質の調査(13カ所)
- 市内の地下水の水質を把握するための調査 (24カ所)
- 水質汚濁防止法に基づく事業場への立入り  
法に定められた事業場の排水が適正処理されているかどうかを確認し、  
必要な場合は改善指導等をするもの (立入り件数 79件)
- 中山地区産業廃棄物処理施設周辺環境調査  
廃棄物処理施設周辺で、大気や地下水を定期的に監視 (6カ所)
- ダイオキシン類調査  
焼却炉を持つ事業場の周辺での大気中のダイオキシン類調査 (3地区 10カ所)
- 道路沿線、長野道沿線、一般環境での騒音調査 (11カ所)
- 放射性物質濃度測定調査  
市立小学校の校庭の土壌と、井戸水の放射性物質濃度を測定 (28校、井戸5カ所)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・法令等に基づく事業場への立入調査などを継続する。  
・良好な水・大気環境が保たれ、騒音などによる公害苦情件数が減少傾向にある。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市内河川33カ所におけるBOD2mg/L未満の箇所の割合(%)				
指標の設定理由	2mg/Lが一般的にきれいな水の目安であるため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	100
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)	一般大気環境基準達成率(二酸化硫黄・二酸化窒素)(%)				
指標の設定理由	行政の目標として国が環境基準を設定しているため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100	100	100
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	15,771		14,392		14,858		14,536		14,829	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	15,771		14,392		14,858		14,536		14,829	
② 人件費(千円)	26,531	人工	26,186	人工	26,048	人工	26,531	人工	25,841	人工
正規	26,531	3.45	26,186	3.45	26,048	3.45	26,531	3.45	25,841	3.45
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	42,302		40,578		40,906		41,067		40,670	
前年度比	—		95.9%		100.8%		100.4%		99.0%	

事務事業評価票

事務事業名	公衆便所管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公衆便所管理費

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

公共福祉の増進を図るため、公衆便所を適正に管理する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 公衆便所管理事業  
環境保全課が管理する公衆トイレ(33カ所)の清掃、点検を行い、市民が利用しやすいように清潔に保つもの。
- 公衆便所整備事業  
環境保全課が管理する公衆トイレについて「安心」「快適」「親しみ」を基本方針に公衆便所を整備するもの。
- 委託先  
(1) ゼンユウ総業(株)  
(2) シルバー人材センター  
(3) 地元団体
- 契約金額  
9,476,912円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止

多くの市民や観光客等に利用され、公衆衛生の向上と公共福祉の増進に寄与している。  
観光客、女性や年配者など、誰もが気持ちよく安全に公衆トイレを利用できるように、要望の多い中心市街地の公衆トイレを洋式化する。  
清潔で快適なトイレ環境を保つため維持管理を継続して行く。

<指標の達成状況>

区分	総合評価		B		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	洋式便器の割合(環境保全課所管公衆トイレ)				
指標の設定理由	まちの公衆衛生に対する指標のため				
目標値	38.2%	38.2%	38.2%	38.2%	38.2%
実績値	20.7%	26.8%	27.3%	27.3%	27.3%
達成度	54.2%	70.2%	71.5%	71.5%	71.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,190		14,430		14,293		14,039		14,383	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	19,190		14,430		14,293		14,039		14,383	
② 人件費(千円)	3,619	人工	3,649	人工	3,705	人工	3,740	人工	3,779	人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用(アルバイト、パートタイム1・2類)	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1	3,030	1
合計コスト①+②	22,809		18,079		17,998		17,779		18,162	
前年度比	—		79.3%		99.6%		98.8%		102.2%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	し尿収集業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿収集業務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

し尿汲取りを適正に行い快適な生活環境を支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 清掃確認券発行事業  
 清掃確認券を用いて、業者による適正なし尿汲取りを管理するもの  
 (汲取り場所、汲取り氏名が記入された回数券) R2年度 … 786件

2 し尿汲取料金補助事業  
 生活保護世帯や障害者世帯など、生活困窮者に対し汲取料金を全額補助するもの R2年度 … 31世帯

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 ・適正なし尿汲取りを行うため、今後も事業を継続していく。

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和元2年度	
① 事業費(千円)	926		730		835		681		762	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	926		730		835		681		762	
② 人件費(千円)	154	人工	152	人工	151	人工	152	人工	150	人工
正規	154	0.02	152	0.02	151	0.02	152	0.02	150	0.02
会計年度任用 (アルバイト、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,080		882		986		833		912	
前年度比	—		81.7%		111.8%		84.5%		109.5%	



事務事業評価票

事務事業名	松本地区霊園管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	松本地区霊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園、蟻ヶ崎霊園及び並柳霊園の墓所管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 管理する墓所数
(1) 中山霊園
ア 一般墓所 9,166区画
イ 合葬式墳墓(屋内型) 1施設
ウ 合葬式墳墓(屋外型樹木葬) 1施設
(2) 蟻ヶ崎霊園 一般墓所 2,445区画
(3) 並柳霊園 一般墓所 482区画
2 現指定管理者概要
(1) 商号等
松本市大字島内1259番地137
(株)信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸
(2) 指定管理料
31,000,000円
(3) 期間
令和2年度～令和6年度の5年間
3 評価
特に屋外型合葬式墳墓(樹木式埋蔵場所)は、芝など適正に管理されており、景観もよく申請者が増加している。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性	拡充・ <b>継続</b> 縮小・廃止
・	指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	合葬式墳墓使用申請数				
指標の設定理由	新たな墓地形態として注目を集めている墓所の収入のため				
目標値	570	627	684	741	800
実績値	678	901	1,084	1,280	1,642
達成度	118.9%	143.7%	158.5%	172.7%	205.3%
② 成果指標(指標名)	一般墓所使用申請数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値	97	138	191	241	291
実績値	119	47	88	69	102
達成度	122.7%	34.1%	46.1%	28.6%	35.1%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,696		39,696		47,070		46,129		47,980	
国・県										
利用者負担金	39,696		39,696		47,070		46,129		47,980	
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	4,383	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工	3,745	人工
正規	4,383	0.57	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5	3,745	0.5
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	44,079		43,491		50,845		49,929		51,725	
前年度比	—		98.7%		116.9%		98.2%		103.6%	

事務事業評価票

事務事業名	西部地区霊園管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	西部地区霊園管理費

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—		松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

合併地区(奈川、梓川、波田地区)霊園の墓所管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

管理する墓所数

1 奈川地区		
(1) 奈川霊園	一般墓所	116区画
2 梓川地区		
(1) あずさがわ霊園	一般墓所	206区画
(2) 上野霊園	一般墓所	125区画
(3) 横沢霊園	一般墓所	13区画
3 波田地区		
(1) さみぞ霊園	一般墓所	173区画
(2) 下原霊園	一般墓所	368区画
(3) つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画
4 評価		
目標値の過大設定により、達成度は低い数値であるが、毎年度、一定数の貸付を行っている。		

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

- ・ 奈川霊園などの遠隔地の効率的な管理を研究する。

<指標の達成状況>

		総合評価		D	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	一般墓所貸付件数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値	19	29	42	55	68
実績値	16	32	13	14	24
達成度	84.2%	110.3%	31.0%	25.5%	35.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	2,078	2,143	2,580	2,532	2,694
国・県					
利用者負担金	2,078	2,143	2,580	2,532	2,694
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	769	759	755	760	749
正規	769	0.1	759	0.1	755
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	2,847	2,902	3,335	3,292	3,443
前年度比	—	101.9%	114.9%	98.7%	104.6%

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	合葬式墳墓整備事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	合葬式墓地整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園に墓所の新たな形態となる合葬式墳墓を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 屋内型埋蔵場所受入可能件数  
 個別埋蔵 800件  
 共同埋蔵 1,200件 計 2,000件  
 平成23年度に既存建物を改修し、平成24年度に各400件受入可能な施設整備  
 平成29年度に共同埋蔵場所を400件分増設  
 令和元年度に個別埋蔵場所を400件分増設  
 令和元年度に共同埋蔵場所の埋蔵数の見直しを行い、受入数400体分増加
- 屋外型埋蔵場所受入可能件数  
 樹木式埋蔵 960件  
 平成29年度に新たに960件受入可能な施設整備  
 令和2年度から、生前申請の受付を開始
- 主な改修工事等  
 (1) 屋内型合葬式墳墓墓誌増設工事  
 (2) 屋内型合葬式墳墓祭壇改修工事  
 (3) 屋内型合葬式墳墓通路改修工事

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 (拡充)・継続・縮小・廃止  
 ・ 市民需要を把握しながら、さらに施設増設を具体化する時期に来ている。  
 ・ 要望の多い屋外型樹木式埋蔵場所の生前申請を令和2年度から開始し、より市民要望に応えられている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	屋内型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	800	1,200	1,200	1,200	1,200
実績値	800	1,200	1,200	1,200	1,200
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)	屋外型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	0	960	960	960	960
実績値	0	960	960	960	960
達成度	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,558		16,713		1,296		3,354		3,749	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,558		16,713		1,296		3,354		3,749	
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,795	人工	755	人工	760	人工	1498	人工
正規	3,076	0.4	3,795	0.5	755	0.1	760	0.1	1498	0.2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	7,634		20,508		2,051		4,114		5,247	
前年度比	-		268.6%		10.0%		200.6%		127.5%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 1920000

事務事業名	墓地管理台帳整備事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓地管理台帳整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

市営霊園10カ所の霊園の使用者情報を管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 墓地管理台帳システムのリース料及び通信回線支出(毎月)
- 墓地管理台帳システム保守管理(毎月)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止  
 ・ 安定した運用ができるよう、さらに開発業者と綿密な打合せを実施していく。  
 ・ コンビニ収納に向けた取組みを実施していく。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市内10霊園の貸付数				
指標の設定理由	使用者情報を管理する元になるため				
目標値					
実績値	13,019	13,025	13,067	13,075	13,130
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	760		760		745		6,723		1,692	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	760		760		745		6,723		1,692	
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	2,416	人工	2,432	人工	2396.8	人工
正規	385	0.05	380	0.05	2,416	0.32	2,432	0.32	2396.8	0.32
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,145		1,140		3,161		9,155		4,089	
前年度比	—		99.6%		277.4%		289.6%		44.7%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	不明墓所整理事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	不明墓所整理事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園10カ所の使用者が不明となった者の戸籍等の調査を行い、親族等承継者が判明した場合には、承継手続きをしてもらい、不明墓所になることを防止するもの。  
承継者がいない、不明等の場合には無縁墳墓と確定する手続を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 霊園使用者承継 361件  
市営霊園の祭祀の承継の届出を受けた件数
- 無縁墳墓認定のための看板設置 3件  
無縁墳墓に認定するために法で規定された手続きをした件数
- 無縁墳墓認定 3件  
上記2の結果、無縁墳墓に認定した墓所の件数
- 承継等の意思を示さない者の現地調査 0件  
東京都、神奈川県の関係者を訪問した件数  
※新型コロナウイルス感染症防止対策により中止

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・不明墓所を生まないため、戸籍調査(令和2年度:51件)等に努めているが、増加傾向にある。  
・調査により、使用者の所在及び縁故者が不明である墓所について、無縁改葬の手続きを行うため官報公告を行う。  
・無縁となった墓所については、無縁墳墓改葬し再貸付を行う。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	霊園承継届提出件数				
指標の設定理由	不明墓所とならず新たな者に承継された墓所の指標となるため				
目標値					
実績値	337	326	388	370	361
達成度					
② 成果指標(指標名)	無縁墳墓認定件数				
指標の設定理由	無縁墳墓となった墓所数が客観的にわかる指標のため				
目標値					
実績値	19	6	1	6	3
達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	38		37		55		78		84	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		37		55		78		84	
② 人件費(千円)	2,850	人工	2,890	人工	2,950	人工	2,980	人工	3,030	人工
正規	0		0		0		0		0	
会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	2,850	1	2,890	1	2,950	1	2,980	1	3,030	1
合計コスト①+②	2,888		2,927		3,005		3,058		3,114	
前年度比	—		101.4%		102.7%		101.8%		101.8%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	特定地域生活排水事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	特定地域生活排水事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

四賀地域の生活環境整備を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 四賀戸別合併処理浄化槽維持管理及び清掃事業  
浄化槽市町村整備事業(設置主体:市)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行う。
- 特別会計であるため、事業の健全化に努める。
- 平成28年度に「松本市地域排水施設事業経営戦略」を策定し、中長期にわたり、経営の安定化を図った。5年後に見直し予定
- 設置基数  
1,152基
- 管理基数  
1,037基(令和3年3月末)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	維持管理回数				
指標の設定理由	維持管理回数の頻度を維持することにより、汚水処理を適正に行うため。				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	4	4	4	4	4
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	55,830		55,790		55,925		57,526		58,560	
国・県										
利用者負担金	44,206		44,270		43,458		44,283		44,792	
その他										
一般財源	11,624		11,520		12,467		13,243		13,768	
② 人件費(千円)	3,691	人工	3,643	人工	3,624	人工	3,648	人工	3,595	人工
正規	3,691	0.48	3,643	0.48	3,624	0.48	3,648	0.48	3,595	0.48
会計年度任用 (アルバイト、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	59,521		59,433		59,549		61,174		62,155	
前年度比	—		99.9%		100.2%		102.7%		101.6%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	事務管理(島内小公園管理)
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

~

環境改善事業で整備した公園であり、周辺住民の憩いの場とするため管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業実施内容

- 光熱水費、土地借上料の支出
- 冬季のトイレ閉鎖
- 遊具の点検

2 公園の概要

- 通称 島内小公園(ひまわり公園)  
島内町・北方町会境界付近は、墓地と荒れ地が点在していたため、生活環境向上を目指し、環境改善事業の県補助金を取り込み、H6・7の2年間で公園整備をしたもの
- 面積 1,375.10㎡  
ア 借地 912.58㎡  
イ 市有地 462.52㎡(「公募上面積520㎡」)
- 地番 市有地 島内6047-1、6047-口、6455
- 事業費 23,341,993円
- 財源  
ア 県補助金 400,000円  
イ 一般財源 22,941,993円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
・立地上利用者が限られるが、地区にとっては必要な公園のため、適正な管理に努める。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園水道使用量				
指標の設定理由	利用者数の把握は困難であるため、トイレ、散水などに利用した水量から利用状況を推測できるため				
目標値					
実績値	4	30	34	95	6
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	469	950	472	1,064	500
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	469	950	472	1,064	500
② 人件費(千円)	154	人工 380	人工 378	人工 380	人工 374.5
正規	154	0.02	380	0.05	378
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	623	1,330	850	1,444	875
前年度比	—	213.5%	63.9%	170.0%	60.6%

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	マレットゴルフ場整備事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	マレットゴルフ場整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園に整備したマレットゴルフ場27コースの整備、管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 コース改修工事  
R2年度は改修工事なし

2 現指定管理者概要  
(1) 商号等  
松本市大字島内1259番地137  
(株)信州グリーン 代表取締役 藤原 繁幸  
(2) 目的  
造園の設計施工業務  
地方自治法に基づく指定管理者制度による公の施設の管理及び運営

3 評価  
地元利用団体と連携を取りながら適切に整備、管理を行っている。  
無料の施設なので利用者の把握はできないが、大きなトラブルもない。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止  
・地元利用団体と連絡を密に取りながら管理を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画の成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	648		0		1,231		1,048		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	648		0		1,231		1,048		0	
② 人件費(千円)	385	人工	228	人工	227	人工	228	人工	74.9	人工
正規	385	0.05	228	0.03	227	0.03	228	0.03	74.9	0.01
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,033		228		1,458		1,276		75	
前年度比	—		22.1%		640.1%		87.5%		5.9%	



事務事業評価票

事務事業名	中山霊園第3次造成事業
-------	-------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園第3次造成事業費

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
新たに墓所区画を必要とする方のために、平成13年度から着手した第3次造成地に2,178区画の墓所を整備し貸付けするもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 中山霊園第3次造成事業の概要 中山霊園は、平成15年度までに第2次造成事業地の造成が終了する見込みだったが、さらに市民の墓地需要が旺盛であったことから、平成13年度から第3次造成事業に着手したもの 平成13年度～平成19年度 用地取得 平成18年度～平成20年度 起債借入 平成18年度～平成30年度 起債償還 平成19年度～ 墓所区画造成工事 平成20年度～ 墓所区画貸付け
2 墓所区画造成工事 37区画
3 区画募集広告記事掲載 (1) 市民タイムス 1回 (2) MGプレス 1回 計2回

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 ・一般墓所区画に対する需要を把握しながら造成を継続する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	中山霊園一般墓所区画数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	9,043	9,103	9,163	9,223	9,283
実績値	9,043	9,043	9,094	9,034	9,071
達成度	100.0%	99.3%	99.2%	98.0%	97.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	130	0	8,856	7,885	8,316	
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	130		8,856	7,885	8,316	
② 人件費(千円)	769	人工 607	人工 1,133	人工 1,140	人工 1,123.5	
正規	769	0.1	607	0.08	1,133	
会計年度任用(アルバイト、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	899	607	9,989	9,025	9,440	
前年度比	—	67.5%	1645.0%	90.4%	104.6%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 環境保全課 課CD 19200000

事務事業名	墓所補修整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓所補修整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営墓地10カ所の補修が必要な箇所について、補修を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 補修工事箇所
(1) 中山霊園
ア 松枯れ樹木伐採
イ 第2・3造成地ゲート改修工事
ウ 給水所改修工事
エ 入口トイレ前舗装工事
オ 進入道路防犯灯LED化工事
(2) 蟻ヶ崎霊園
東西通路防犯灯LED化工事
(3) 奈川霊園
側溝脇間詰コンクリート工事
2 評価
指定管理者が行う利用者アンケートでは年々整備が行き届き、きれいになっているとの意見が多数あり、満足度も高い評価を頂いている。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止)  
 ・指定管理者(松本地区)、管理業務委託業者(西部地区)との綿密な情報交換を行い、補修必要箇所を適正に把握している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画の成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,497		1,242		3,294		5,155		8,925	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,497		1,242		3,294		5,155		8,925	
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	1,133	人工	1,140	人工	1498	人工
正規	769	0.1	759	0.1	1,133	0.15	1,140	0.15	1498	0.2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	2,266		2,001		4,427		6,295		10,423	
前年度比	—		88.3%		221.2%		142.2%		165.6%	

事務事業評価票

事務事業名	中山霊園ユニバーサルデザイン化事業
-------	-------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園ユニバーサルデザイン化事業

部局名	環境エネルギー部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H22 ~ R3
中山霊園の利用者が、誰でも負担を感じることなく参拝できるようにするもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
1	中山霊園ユニバーサルデザイン化事業の概要 平成22年度 中山霊園ユニバーサルデザイン化事業計画策定 平成23年度 第一次造成地手すり設置 平成24. 26. 27年度 給水管改修、水汲み場増設 平成26. 27年度 トイレ改修 ※経営状況悪化のため平成28～30年度は事業休止。 令和元年度 給水管改修及び給水所設備 令和2年度 第二・三次造成地手すり設置 令和3年度 第一・二次造成地管理用通路の拡幅及び舗装
2	第二・三次造成地手すり設置工事 (1) 手すり設置工 L=770m
3	評価 指定管理者が行う利用者アンケートでは水汲み場の改修、手すりの設置等に対し、非常に感謝しているとの意見が多数あり、満足度も高い評価をいただいている。

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止 ・ハード、ソフト両面から参拝環境の整備を推進する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなかが衛生的に保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	第10次基本計画成果目標				
目標値			更なる上昇	更なる上昇	80%後半
実績値			82		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	0	0	0	12,650	25,431					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源				12,650	25,431					
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	760	人工	749	人工
正規	0		0		0		760	0.1	749	0.1
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	0		0		0		13,410		26,180	
前年度比	—		—		—		—		195.2%	

# 森林環境課

課長 勝山 隆浩

事務事業評価票

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業①
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
農林業被害の軽減を図るため		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 個体数調整、有害鳥獣管理 野生鳥獣による農林業被害を減少させるため、有害鳥獣の個体数調整を行いました。 令和2年度捕獲状況 指標のとおり
2 有害鳥獣の集落へ出没した場合の対応 猟友会員を鳥獣被害対策実施隊員(非常勤公務員)として任命しました。(314名)
3 地域住民自らが、対象鳥獣捕獲を実施 集落等捕獲隊の設立 6隊203名 (四賀50名、入山辺86名、中山29名、稲核10名、大野川13名、上野15名)
4 新規銃猟者への支援 駆除従事者確保のため、新規銃猟者に対する支援を行いました (新規銃猟者4名)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止) 鳥獣による農林業被害は、防護柵の設置と捕獲庄の維持により大型獣類は減少しているが、西部地区にてサルによる被害と、市全域で鳥類と中小獣類による被害の相談が寄せられている。

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	獣類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	2,130	2,203	2,203	2,400	2,400
実績値	2,512	2,557	1,926	2,011	2,515
達成度	117.9%	116.1%	87.4%	83.8%	104.8%
② 成果指標(指標名)	鳥類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200
実績値	4,733	3,882	2,500	3,402	3,690
達成度	91.0%	74.7%	48.1%	65.4%	71.0%

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	国・県	17,270	17,560	21,178	22,168	28,590
	利用者負担金	8,408	6,617	7,521	9,059	12,260
	その他					
	一般財源	8,862	10,943	13,657	13,109	16,330
② 人件費(千円)	正規	14,385	人工 12,830	人工 12,800	人工 12,890	人工 12,750
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	11,535	1.5 11,385	1.5 11,325	1.5 11,400	1.5 11,235
		2,850	1 1,445	0.5 1,475	0.5 1,490	0.5 1,515
合計コスト①+②		31,655	30,390	33,978	35,058	41,340
前年度比		—	96.0%	111.8%	103.2%	117.9%

事務事業評価票

作成日 令和3年9月27日

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業②
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

野生鳥獣の適正個体数調整を行い、農林業及び人的被害の抑制を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容

(1) 有害鳥獣駆除に伴う現場調査等業務

- ・通報によるクマ、サル、イノシシ等鳥獣被害現地調査及びパトロール
- ・通報によるサル等の追い払い
- ・クマ捕獲許可申請や学習放獣の立会い
- ・ワナ設置等に関する猟友会との調整
- ・関係支所への注意喚起放送の依頼
- ・猟友会員の免許更新に伴う証明書発行
- ・猟友会に貸与した罠の修繕

2 業務実績

- ・ツキノワグマ学習放獣 13件
- ・ツキノワグマ捕殺 13件
- ・ツキノワグマ緊急捕殺 16件
- ・猟友会証明書発行 28件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止  
 野生鳥獣のうち、特に猿による農作物被害や熊の出没による人的被害を抑制するため、適正個体調整を継続的に進めます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	西部地区のクマによる人身被害発生件数				
指標の設定理由	人身被害の発生件数が活動成果の一部を表すと考えられるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	2	1	0	0	1
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	28		29		54		38		100	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28		29		54		38		100	
② 人件費(千円)	1,923	人工	1,898	人工	1,923	人工	1,900	人工	1,872.5	人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	1,923	0.25	1,900	0.25	1,872.5	0.25
嘱託	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,951		1,927		1,977		1,938		1,973	
前年度比	—		98.8%		102.6%		98.1%		101.8%	

事務事業評価票

事務事業名	森林造成事業①
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4	防災・SDGs	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み	○	森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市内の森林の水源涵養・山地災害防止等の多面的機能を発揮させるため、松本市森林整備計画に基づき森林整備を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 市有林造成事業 市が管理する市内の市有林整備の実施
2 森林造成事業補助金 林業事業者等が実施する森林整備に対して市嵩上げ補助を実施
3 森林整備地域活動支援交付金事業 林業事業者が森林経営計画の作成に対する経費の市嵩上げ補助を実施

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止
森林は多面的な機能を持っており、これらの機能を社会資本として後世に伝え維持していくために、計画的な整備を継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標面積(ha)				
指標の設定理由	森林の持つ多面的な機能を発揮させる。				
目標値	280	280	280	280	280
実績値	159	117	129	131	99
達成度	56.8%	41.8%	46.1%	46.8%	35.4%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	23,246	19,823	29,694	20,131	7,922					
国・県	2,903	2,957	6,536	2,174	0					
利用者負担金	0	0	0	0	0					
その他	2,426	779	7,751	2,824	467					
一般財源	17,917	16,087	15,407	15,133	2,458					
② 人件費(千円)	7,690	人工	5,132	人工	4,825	人工	4,858	人工	4,797	人工
正規	7,690	1	4,554	0.6	4,530	0.6	4560	0.6	4494	0.6
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		578	0.2	295	0.1	298	0.1	303	0.1
合計コスト①+②	30,936	24,955	34,519	24,989	12,719					
前年度比	—	80.7%	138.3%	72.4%	50.9%					

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業②
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4 防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

＜事業の狙い＞	事業計画年度	R2 ~ R7
市有林の整備を行うとともに、林業事業者が実施する森林造成事業に対して補助金等を交付するなど、森林機能の維持向上を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 森林造成事業 第7次松本市森林整備計画に基づき、10年間で4,400haの間伐を実施 (1) 市有林造成事業を委託 (国庫補助事業 補助率 国 40%、県30%) (2) 私有林の整備に関する高上補助を実施 補助対象事業費の30%以内
2 その他 森林の里親事業補助業務の委託(消耗品購入含む)並びに事業内容の調整及び当日作業(森林整備・都市との交流)
3 活動実績 市有林間伐等業務委託 3.0ha 森林の里親業務委託 高上げ補助 4件(奈川地区3件 7.7ha、梓川地区1件 5.5ha)
4 令和2年度評価について 7月豪雨災害の影響から、一部森林の造成が出来なかった。他所は計画通りできたため、総合評価『A』とした。

第11次基本計画での方向性 拡充 <b>継続</b> ・縮小・廃止 森林が本来持っている多面機能を発揮させ、健全な姿で次世代へ引き継いでいきます。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市有林造成面積(ha)				
指標の設定理由	市有林造成面積が事業の進捗状況を表すため				
目標値	0.1	12.8	13.4	13.6	18.0
実績値	0.1	5	11.1	8.4	3
達成度	100.0%	39.1%	82.8%	61.8%	16.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	35,684	13,390	22,777	19,597	19,020
国・県	1,725	9,317	7,144	3,923	2,696
利用者負担金					
その他			8,344	2,947	3,279
一般財源	33,959	4,073	7,289	12,727	13,045
② 人件費(千円)	5,383	人工 5,313	人工 5,383	人工 5,320	人工 5,243
正規	5,383	0.7 5,313	0.7 5,383	0.7 5,320	0.7 5,243
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	41,067	18,703	28,160	24,917	24,263
前年度比	—	45.5%	150.6%	88.5%	97.4%



事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の野外レクリエーション活動の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 指定管理事業  
施設の使用受付、許可、使用料徴収、施設の維持管理及び事業の企画運営等を主な業務として、TOY BOXへ委託

2 施設の改修事業  
快適な施設利用や、利用者数の増加を目的とした施設改修等の実施

3 令和2年度の実績について  
令和2年度はコロナ禍から、会場期間の短縮や外出自粛の影響を受け、利用者数が減少したが、外的要因が大きく、不可抗力であり指定管理者の営業努力など考慮し総合評価を『A』とした。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止)  
設置から25年が経過し老朽化も顕著になってきている。事業継続のため給水ポンプの更新を行いたい。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市美鈴湖もりの国利用者数(人)				
指標の設定理由	事業の成果が直接図れる数値のため(指定管理者の数値目標と同様)				
目標値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値	5,881	5,495	5,667	5,922	3,821
達成度	106.9%	99.9%	103.0%	107.7%	69.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	7,158		8,176		7,167		6,429		6,980	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,158		8,176		7,167		6,429		6,980	
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工	2,247	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3	2,247	0.3
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	9,465		10,453		9,432		8,709		9,227	
前年度比	—		110.4%		90.2%		92.3%		105.9%	

事務事業評価票

事務事業名	松くい虫対策事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	松くい虫対策事業費

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	平成29年度～令和3年度
松くい虫被害のまん延を防止するため		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 松くい虫被害木の伐倒駆除 令和2年度 5,208㎡
2 対策協議会の設立 対策協議会設立数 6協議会
3 松くい虫被害拡大防止に向けた個人等への補助 樹幹注入補助 60件、被害木伐採 164件
4 森林での被害状況調査 調査日数 60日
5 松くい虫被害感染確認 検体調査数 59本 うち23本が感染確認

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・ <u>継続</u> ・縮小・廃止
松くい虫被害は、市民の協力を得る中、各種対策を講じているが、被害は拡大している。今後は被害先端地での伐倒駆除、ライフライン沿線での危険木処理に対策を集中していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松くい虫被害木の伐倒駆除				
指標の設定理由	感染木の早期伐採により、感染拡大防止を抑制するもの				
目標値	感染木伐採 3,500㎡/年				
実績値	3,707	3,573	3,664	4,973	5,208
達成度	105.9%	102.1%	104.7%	142.1%	148.8%
② 成果指標(指標名)	対策協議会設立				
指標の設定理由	被害進行に対する対策について市民の意向を早期に反映させるもの				
目標値	未設置地区での協議会の設立				
実績値	4	5	6	6	6
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100.0%

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	95,295	95,306	99,696	232,339	323,543					
国・県	53,428	68,489	68,582	115,065	118,754					
利用者負担金										
その他										
一般財源	41,867	26,817	31,114	47,179	204,789					
② 人件費(千円)	14,385	人工 12,830	人工 12,800	人工 12,890	人工 12,750					
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5	11,400	1.5	11,235	1.5
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	2,850	1	1,445	0.5	1,475	0.5	1,490	0.5	1,515	0.5
合計コスト①+②	109,680	108,136	112,496	245,229	336,293					
前年度比	—	98.6%	104.0%	218.0%	137.1%					

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理①
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業を主要産業とし、林業従事者等の確保を図る。また、田舎と都市の交流の場所として、里山を中心とした森林の多目的利用、公益的な施設を通じて自然環境学習を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 林業センター・林業者等健康増進管理集会施設・五常集落生活環境施設施設管理を行い、林業者等の労働環境を整備する。
- 2 環境学習の森管理事業  
指定管理者制度で交流促進センター等の施設管理や環境林の整備を行う。
- 3 千鹿頭山森林公園  
施設の維持管理を行い、安心して利用できる環境を整える。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続・縮小・廃止)  
コロナ禍の影響もあり、各施設利用者数は減少した。継続して施設管理をすることにより、林業者や環境林の整備を行う。

総合評価

C

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林業者等健康増進管理集会施設(%)				
指標の設定理由	林業センターの利用促進(人)				
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
実績値	1,523	1,545	1,455	1,580	1,010
達成度	101.5%	103.0%	97.0%	105.3%	67.3%
② 成果指標(指標名)	環境学習の森管理事業(%)				
指標の設定理由	環境学習の森の交流センター、コテージの利用促進(人)				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	830	821	731	600	94
達成度	83.0%	82.1%	73.1%	60.0%	9.4%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	11,056		10,177		10,872		10,744		10,890	
国・県										
利用者負担金					110		210		290	
その他										
一般財源	11,056		10,177		10,762		10,534		10,600	
② 人件費(千円)	10,282	人工	10,156	人工	10,110	人工	10,178	人工	10,040	人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,815	1.3	9,880	1.3	9,737	1.3
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1	303	0.1
合計コスト①+②	21,338		20,333		20,982		20,922		20,930	
前年度比	—		95.3%		103.2%		99.7%		100.0%	

事務事業評価票

事務事業名	林業施設管理②
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
林業関連施設の適切な維持管理を行い、利用者の利便性向上を図るもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 林業施設の管理
(1) 黒川林道通行管理 林道ゲートの鍵の貸出し管理を民間に委託し適正な通行管理を行なうもの
(2) 奈川林業者研修宿泊施設の維持管理 浄化槽及び建物の定期点検委託等 (施設概要) 宿泊施設 2棟 (単身用2戸、世帯用3戸) 集会施設 1棟
2 活動実績 黒川林道鍵貸出し件数 156件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止)

奈川林業者研修宿泊施設は、補助金を活用した施設のため、法律の処分制限が切れる令和5年度に廃止とする。

黒川林道鍵貸出しについては、鉢盛山への登山者や黒川への入山者が多く利用しているため継続していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道使用者数					
	指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
	目標値	250	250	250	250	250
	実績値	325	258	329	347	262
	達成度	130.0%	103.2%	131.6%	138.8%	104.8%
② 成果指標(指標名)	林業者研修宿泊施設への入居戸数					
	指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
	目標値	5	5	5	5	5
	実績値	1	1	0	0	0
	達成度	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	183	6,233	190	155	125
国・県					
利用者負担金					
その他	144	84	0	0	0
一般財源	39	6,149	190	155	125
② 人件費(千円)	77	人工 1,594	人工 77	人工 76	人工 74.9
正規	77	0.01 1,594	0.21 77	0.01 76	0.01 74.9
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	260	7,827	267	231	200
前年度比	—	3011.5%	3.4%	86.5%	86.5%

事務事業評価票

事務事業名	林道維持管理①
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市で管理する林道の安全確保のため、適切な維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市管理林道 92路線、延長 275,482m

- 林道管理委託  
巡回、路面清掃、側溝清掃、除草、除雪 等 1式
- 林道維持工事  
舗装補修、路盤維持、法面・路肩補修等工事 1式  
災害復旧工事(単独) 1件

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 (拡充)・継続・縮小・廃止  
林道美ヶ原線について、美ヶ原観光振興の基礎インフラでもあるため補修工事を拡充する。

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	車両事故発生件数				
指標の設定理由	交通車両の安全確保が最大の目的であるため。				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度	100%	100%	100%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	35,911		49,380		49,620		47,692		47,650	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,911		49,380		49,620		47,692		47,650	
② 人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工	3,745	人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5	3,745	0.5
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	38,218		53,175		53,395		51,492		51,395	
前年度比	—		139.1%		100.4%		96.4%		99.8%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理②
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安全な道路状態を確保するため、林道の補修及び整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 林道維持管理事業  
林道の維持管理を行い、通行の安全を確保するもの
- 業務内容
  - 林道維持管理業務
    - 林道奈川安曇線(AB線)の維持管理業務委託
    - A線冬期閉鎖解除に伴う除雪清掃業務委託
    - 林道除草業務委託(奈川地区12路線、安曇地区 4路線)
    - 奈川安曇線他11路線の補修整備工事

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
自然条件等による林道施設の老朽化、破損等が増加している。林道施設の適正な管理のため、引続き各種整備を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
指標の設定理由	適正な維持管理状況が把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,023		32,505		32,537		41,034		41,810	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,023		32,505		32,554		41,034		41,810	
② 人件費(千円)	4,700	人工	3,882	人工	4,700	人工	4,694	人工	4,654	人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5	3,800	0.5	3,745	0.5
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム・2類)	855	0.3	87	0.3	855	0.3	894	0.3	909	0.3
合計コスト①+②	43,723		36,387		37,237		45,728		46,464	
前年度比	—		83.2%		102.3%		122.8%		101.6%	

事務事業評価票

事務事業名	林業振興事業①
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

森林資源の有効利用を行うことにより、地球温暖化の抑制や二酸化炭素削減を図り、木材利用の拡大を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ペレットストーブ購入事業補助金  
ペレットストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。  
(上限100千円)
- 薪ストーブ購入事業補助金  
薪ストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。  
(上限100千円)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・~~継続~~・縮小・廃止  
森林資源である木材の有効利用を図っていくために計画的な整備を継続していく。

<指標の達成状況>		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	目標台数(ペレットストーブ)				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値	70	77	84	96	108
実績値	70	77	84	96	108
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)	目標台数(薪ストーブ)				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値		10	40	70	100
実績値		10	37	62	97
達成度		100.0%	92.5%	88.6%	97.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	700	1,683	3,395	3,659	4,634		
国・県	700	683	525	899	900		
利用者負担金							
その他							
一般財源	0	1,000	2,870	2,760	3,734		
② 人件費(千円)	2,307	人工 3,541	人工 3,870	人工 3,904	人工 3,922		
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2	
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	2,023	0.7	2,360	0.8	2,384	0.8
合計コスト①+②	3,007	5,224	7,265	7,563	8,556		
前年度比	—	173.7%	139.1%	104.1%	113.1%		

事務事業評価票

事務事業名	林業振興事業②
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興事業費

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	防災・SDGs		
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築			
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

<事業の狙い>

事業計画年度	平成29年度～令和3年度
--------	--------------

森林病害虫から森林を守り、森林環境の保全を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 業務の実施内容	松くい虫被害拡大防止のため、被害木のパトロール等を行うもの
2 業務内容	(1) アカマツ枯損木の確認パトロール (2) 枯損木の検体サンプルの収集及び県への検査依頼
3 活動実績	(1) パトロール実施 48回(概ね週1回) (2) 検体サンプル採取本数 7本

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止  
 松くい虫被害は、市民の協力を得る中、各種対策を講じているが、被害は拡大している。今後は被害先端地での伐倒駆除、ライフライン沿線での危険木処理を検討していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		A	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松くい虫被害拡大防止のためのパトロール実施回数 (回)				
指標の設定理由	監視活動の状況が把握できるため				
目標値	52	52	52	52	52
実績値	52	50	52	48	48
達成度	100.0%	96.2%	100.0%	92.3%	92.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	136	117	220	142	140
国・県					
利用者負担金					
その他	90	80	80	90	80
一般財源	46	37	140	60	70
② 人件費(千円)	1,624	1,626	1,624	1,654	1,749
正規	769	759	769	760	749
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	855	867	855	894	0
合計コスト①+②	1,760	1,743	1,844	1,796	889
前年度比	—	99.0%	105.8%	97.4%	49.5%



事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業①
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

4~R4

森林の整備・管理の効率化に不可欠であり、路線により生活道路・観光道路としても利用される、林道網の整備を計画的に行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

改良工事(2路線)  
 美ヶ原線 L= 111m(2工区計)  
 宮ノ入線 L= 289m

※林道高遠線開設工事は計画を前倒しし、令和元年度で終了

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
 林道は森林管理の他にも観光道路、生活道路としても活用されており、計画的な整備を継続する。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道開設延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	173	195	189	140	312
実績値	211	79	67	132	400
達成度	122.0%	40.5%	35.4%	94.3%	128.2%
② 成果指標(指標名)	林道改良延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	361	400	285	192	333
実績値	407	369	123	241	400
達成度	112.7%	92.3%	43.2%	125.5%	120.1%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	55,112		49,248		52,297		72,764		71,945	
国・県	19,837		21,226		22,690		34,649		35,350	
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,275		28,022		29,607		38,115		40,860	
② 人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工	11,325	人工	11,400	人工	11,235	人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5	11,325	1.5	11,400	1.5	11,235	1.5
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	66,647		60,633		63,622		84,164		83,180	
前年度比	—		91.0%		104.9%		132.3%		98.8%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業②
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容及び事業実績

(1) 林道奈川安曇線改良事業

ア 事業実施内容  
林道奈川安曇線の改良、舗装工事を行うもの。

イ 令和2年度事業実績  
林道奈川安曇線A線 法面改良工事 L=62m(3箇所)

(2) 林道奈川安曇線トンネル延命化事業 ⇒ R1より単独林道整備事業へ

ア 事業実施内容  
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの。

イ 平成30年度事業実績  
空洞対策工事 L=125m(空洞裏込め注入は70m施工)

2 補助事業名 農産漁村地域整備交付金

3 財源

(1) 工事請負費: 国50%、県1%、過疎債49%

(2) 測量設計、監督補助委託: 過疎債100%

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止

奈川地区から乗鞍高原、百骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の痛みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。

整備促進には財源確保が課題であり、令和元年度からはB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	林道整備延長 (m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	118	210	222	57	54
実績値	48	93	62	31	62
達成度	40.7%	44.3%	27.9%	54.4%	114.8%
② 成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長 (m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	573	285	125	-	-
実績値	573	573	125	-	-
達成度	100.0%	201.1%	100.0%	-	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	36,709		46,278		99,274		49,964		44,880	
国・県	18,175		20,792		10,189		24,357		21,318	
利用者負担金										
その他	11,500		25,300		89,000		24,100		23,500	
一般財源	7,034		186		85		1,507		62	
② 人件費(千円)	7,690	人工	11,385	人工	11,535	人工	3,800	人工	5,243	人工
正規	7,690	1	11,385	1.5	11,535	1.5	3,800	0.5	5,243	0.7
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	44,399		57,663		110,809		53,764		50,123	
前年度比	-		129.9%		192.2%		48.5%		93.2%	

事務事業評価票

事務事業名	カラマツ材販路拡大事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	カラマツ材販路拡大事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	28～R5
--------	-------

市内の民有林の3割を占める主要樹種であるカラマツが伐期を迎えているが、主な用途は合板材料となっている。このカラマツ材の用途を拡大し、生産量を増やし、有用な地域資源として、地域の林業振興を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- カラマツ材住宅補助金制度(H30～)  
住宅建築へのカラマツ利用を促進するため、県産カラマツ材を20万円以上使用した木造住宅の新築、リフォームに対し補助金を交付(1件 10万円)令和元年度、要綱改正により工務店の所在地要件を廃止、補助対象カラマツ製品に構造用合板を加え、より使いやすい制度とした。
- 市有林カラマツの主伐  
松本市産カラマツの供給増のため、令和2年度から市有林カラマツの主伐を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による木材需要の減少により出荷の自粛を求められ、2年度の実施は見送りとした。

第11次基本計画での方向性 (拡充・継続・縮小・廃止)

カラマツ材住宅補助金について、カラマツ材の使用量により補助金額を増加させる制度改正を行い、更なる利用促進を図る。

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	防災・SDGs
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○ 森林の保全と整備、山と繋がるライフスタイルの構築
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	カラマツ材住宅補助金の支給件数(H30～)				
指標の設定理由	市民に直接補助金を支給する事業であるため。				
目標値		-	15	30	45
実績値		0	7	22	33
達成度			46.7%	73.3%	73.3%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	6,664	748	700	1,500	1,100
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,664	748	700	1,500	1,030
② 人件費(千円)	2,307	2,277	人工 2,265	人工 3,040	人工 2,247
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	8,971	3,025	2,965	4,540	3,347
前年度比	—	33.7%	98.0%	153.1%	73.7%

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林環境譲与税活用事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

R1~

国から譲与される森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づき、適切な経営管理が行われていない私有林人工林を、所有者から委託をうけて市が管理を行う「森林経営管理制度」によって森林整備の推進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 森林経営管理制度

(1) 市は所有者を確認、経営管理が行われていない森林の選定、意向調査などを実施する。

(2) 森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市が森林経営管理の委託を受ける。

(3) 森林経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託する。

(4) 再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市が管理を実施する。

2 意向調査の実施

令和2年度から、森林所有者に対する意向調査を実施

対象面積:約4,400ha

対象所有者数:約5,900者

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止

法律で努力義務が課せられた業務であり、財源として森林環境譲与税が譲与されているため、計画的に継続して実施する。

総合評価

B

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	意向調査の進捗率				
指標の設定理由					
目標値					4.3%
実績値					4.2%
達成度					97.7%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		0		4,600	
国・県									4,600	
利用者負担金										
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	3,800	人工	8,988	人工
正規	0		0		0		3,800	0.5	8,988	1.2
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	0		0		0		3,800		13,588	
前年度比	—		—		—		—		357.6%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

林業振興に資する団体への負担金の拠出

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

※県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会ほか4団体への負担金

- 1 県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会  
森林の適正な整備と保全、緑づくりの保全及び林業の振興を図る。
- 2 野俣林道愛護会  
朝日村内にある野俣林道の整備及び維持管理を、受益者共同で行う。
- 3 長野県特用林産物振興会  
まつたけ等の特用林産物の生産振興を図る。
- 4 朝日地区林野警備連合会  
朝日村内の市有林、財産区有林等の火災予防等の保護活動を共同で行う。
- 5 長野県造林協会  
森林の健全な育成に寄与するため、上部団体である日本造林協会とともに研究会の開催等、適切な措置を講ずる。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止  
他市村、団体との連携事業であるため継続する。

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,740		2,501		2,730		2,635		2,590	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,740		2,501		2,730		2,635		2,590	
② 人件費(千円)	1,538	人工	759	人工	755	人工	760	人工	749	人工
正規	1,538	0.2	759	0.1	755	0.1	760	0.1	749	0.1
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	4,278		3,260		3,485		3,395		3,339	
前年度比	—		76.2%		106.9%		97.4%		98.4%	

事務事業評価票

部局名 環境エネルギー部 課名 森林環境課 課CD 19250000

事務事業名	負担金(西部農林課)
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H16~

波田植木まつり：波田地区の特産品のPRと緑化・花いっぱい推進を図るもの  
 中信地区水源林造林協議会：水源林事業の円滑な推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 波田植木まつり  
 波田地区のPRと緑化・花いっぱいの推進を目的に行なわれる事業に対して、苗木無料配布費用相当分を負担するもの。  
 負担金 80,000円(苗木200本相当)  
 (1) 主催 波田植木まつり実行委員会  
 (2) 共催 松本市波田商工会工業部会庭園緑化部、松本市波田観光協会  
 (3) 協賛 恋人の丘サラダマーケット、味工房はた  
 (4) 開催時期 5月23日(土)・24日(日) 開催
- 中信地区水源林造林協議会  
 負担金 37,100円  
 中信地区内の(独)森林総合研究所農地整備センターと分取造林契約を結んだ市町村、財産区等で構成される組織であり、会員及び関係機関との連絡や中央要望等を行い水源林造林事業の推進を図るもの。

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・**廃止**  
 植木まつりイベントは継続するが、市からの負担金は令和4年度より廃止とする。

総合評価

C

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	波田植木まつり来場者数				
指標の設定理由	来場者数により活動状況が把握できるため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,500	1,000	980	1,600	300
達成度	150.0%	100.0%	98.0%	160.0%	30.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	106		106		110		117		120	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	106		106		110		117		120	
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76.9	人工	76	人工	74.9	人工
正規	77	0.01	76	0.01	76.9	0.01	76	0.01	74.9	0.01
会計年度任用(アルバイト、パート等1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	183		182		187		193		195	
前年度比	—		99.5%		102.7%		103.3%		101.0%	

事務事業評価票

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独林道整備事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	単独林道整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

R1~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確立するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容及び事業実績

(1) 林道奈川安曇線トンネル延命化事業

ア 事業実施内容

老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの

イ 令和2年度事業実績

空洞対策工事 L=115m

(2) 林道奈川安曇線B線舗装改修事業(単独)

ア 事業実施内容

林道奈川安曇線B線の舗装打替え工事を計画的に実施するもの

イ 令和2年度事業実績

林道奈川安曇線B線 舗装改修工事 L=378m

2 財源 過疎対策事業債

(1) 工事請負費:過疎債100%

(2) 測量設計、監督補助委託:過疎債100%

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・~~継続~~・縮小・廃止

奈川地区から乗鞍高原、百骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の痛みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。

整備促進には財源確保が課題であり、令和元年度からのB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。

総合評価

A

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値				151	115
実績値				151	115
達成度				100.0%	100.0%
② 成果指標(指標名)	工事改良延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値				140	540
実績値				230	378
達成度				164.3%	70.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		0		0		98,841		101,431	
国・県										
利用者負担金										
その他							98,800		101,300	
一般財源							41		131	
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	7600	人工	7490	人工
正規	0		0		0		7600	1	7490	1
会計年度任用(フルタイム、パートタイム・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	0		0		0		106,441		108,921	
前年度比	—		—		—		—		102.3%	

事務事業評価票

事務事業名	県単林道事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	県単林道事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H17～
森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線B線の整備を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 林道奈川安曇線(B)線改良事業 林道奈川安曇線(B線)の改良・舗装工事を行うもの 延長 L=6, 240m
2 財源 (1) 工事請負費: 県60%、過疎債40% (2) 測量設計、監督補助委託: 過疎債100%
3 R2事業実績 路肩改良工事 L=76m

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充 (継続・縮小・廃止) 補助事業で対応できない路肩整備や舗装補修等を行なっているが、県からの補助金額は定額である。県では補助金の廃止も検討されており、今後の増額は望めないため、財源確保が課題

部局名	環境エネルギー部	課名	森林環境課	課CD	19250000
-----	----------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により進捗状況が把握できるため				
目標値	80	60	74	50	50
実績値	67	32	78	75	76
達成度	83.8%	53.3%	105.4%	150.0%	152.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	8,240	8,240	8,262	8,410	8,415	
国・県	4,617	4,617	4,617	4,617	4,617	
利用者負担金						
その他	3,600	3,600	3,600	3,700	3,700	
一般財源	23	23	45	93	98	
② 人件費(千円)	3,076	人工 3,036	人工 3,076	人工 3,040	人工 2,996	
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,040	0.4
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0	0	0	0	0	
合計コスト①+②	11,316	11,276	11,338	11,450	11,411	
前年度比	—	99.6%	100.5%	101.0%	99.7%	



# 環境業務課

課長 原文彦

事務事業評価票

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市民の快適な生活環境を維持するため、市民の環境美化意識の高揚を図り、環境の美化に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

「松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例」や環境衛生協議会を通じて、ポイ捨て防止活動や環境美化活動を推進する。  
不法投棄を防止するため看板及びフェンスの設置を行うとともに、不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を行う。

- 令和2年度環境美化巡視委員数 494名
- 啓発運動
  - ごみゼロ運動  
5月30日、新型コロナウイルス感染症拡大 防止の観点から中止
  - 散乱空き缶等追放キャンペーン  
(開催日:10月31日、参加者:156名)
  - 啓発運動でのごみ処理量 100kg
- 不法投棄パトロール数 100回
- 不法投棄回収量 9t

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止

- 市街地のごみの散乱は少なく、良い評価を得ている。
- 不法投棄の処理量は横ばいとなっているが、河川敷等のポイ捨てが目立つ。
- 不法投棄パトロールの実施と、町会と連携し「不法投棄防止フェンス」「不法投棄禁止看板」の設置を行っていく。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)						
	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	58,658	53,345	53,313	52,678	62,050		
	国・県						
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	58,658	53,345	53,313	52,678	62,050	
② 人件費(千円)	88,784	人工 91,871	人工 87,665	人工 88,278	人工 87,289	人工 87,289	
	正規	77,669	10.1 83,490	11 78,520	10.4 79,040	10.4 77,896	10.4 77,896
	会計年度任用(アルバイト、パート等(1・2類))	11,115	3.9 8,381	2.9 9,145	3.1 9,238	3.1 9,393	3.1 9,393
合計コスト①+②	147,442	145,216	140,978	140,956	149,339		
前年度比	—	98.5%	97.1%	100.0%	105.9%		

事務事業評価票

事務事業名	清掃業務管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

循環型社会の構築を目指し、ごみを5分別25区分に分別し資源化を推進しているため、市民がごみ・資源物を適正に排出できるよう、周知・啓発を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

ごみ・資源物が適正に排出されるよう、市民へ「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」を配布するとともに、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信を行い、周知・啓発を行う。

1 「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」

- (1) 収集地区  
市内35地区を45区域に分けて収集を実施
- (2) 分別区分  
5分別25区分
- (3) 印刷部数

- ア ごみ・資源物の分け方・出し方: 115,000枚
- イ ごみ・資源物の収集日程表: 126,500枚

2 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信

- (1) 登録件数 18,089件
- (2) 対応する外国語 英語、中国語、韓国語、フィリピン語、スペイン語  
ポルトガル語、タイ語、ベトナム語

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続**・縮小・廃止

「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」は町会へ加入している市民には町会を通して配布されるが、町会に加入していない市民や外国人の方のように情報を提供するかが課題となっている。対応として各地区の地域づくりセンターへ予備分を送付したり、地域づくり課、人権・男女共生課と連携し、町会に加入してもらうように勧めている。  
・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入し、ごみ分別等の情報を配信している。(毎月約300件増)  
・アプリは8カ国語に対応しているため、課題となっている外国人の方への周知に活用するとともに、ごみ処理に関する様々な情報を積極的に配信し、ごみの減量・適正処理につなげていく。

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,677	84,618
実績値	91,793	89,793	88,318	89,538	87,292
達成度	98.97%	98.97%	99.00%	98.97%	98.97%
② 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(g)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980
実績値	1,042	1,039	1,009	1,024	1,004
達成度	98.98%	98.96%	99.00%	98.97%	98.98%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	9,569	5,116	4,896	4,706	4,960
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,569	5,116	4,896	4,706	4,960
② 人件費(千円)	23,613	人工 23,383	人工 22,745	人工 22,904	人工 22,647
正規	20,763	2.7 20,493	2.7 20,385	2.7 20,520	2.7 20,223
会計年度任用 (フルタイム、パートタイム1・2類)	2,850	1 2,890	1 2,360	0.8 2,384	0.8 2,424
合計コスト①+②	33,182	28,499	27,641	27,610	27,607
前年度比	—	85.9%	97.0%	99.9%	100.0%

事務事業評価票

事務事業名	塵芥収集業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥収集業務

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

市民の快適な生活環境を維持するため、一般廃棄物(家庭系ごみ)の収集を行うとともに、町会で管理するごみステーションの建設に対して補助を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 可燃・不燃ごみ等の収集運搬

(1) 収集業務割合  
委託:92%、直営:8%

(2) 収集対象

- ア 可燃ごみ
- イ 容器包装プラスチック
- ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ)
- エ 蛍光管・乾電池
- オ 小型家電
- カ スプレー缶・ライター

(3) 区分別に収集するごみステーション数

- ア 可燃ごみ 2,624カ所(+37)
- イ 容器包装プラスチック 1,801カ所(+5)
- ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ) 1,788カ所(+5)
- エ 資源物 1,165カ所(-5)

2 ごみステーション建設費補助  
補助件数 17件、補助金額 1,998千円

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・継続・縮小・廃止

・家庭系ごみの排出量は、コロナ禍の影響もあり先年度は増加したが、今年度は減少した。

・引き続きごみの排出環境の整備・適正処理に努めるとともに、ごみの減量に関わる施策をあわせて実施する。

<指標の達成状況>

		総合評価		C		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	家庭系ごみ収集量(t)					
	指標の設定理由	市が収集する家庭系ごみ量が把握できるため				
	目標値	33,583	32,561	38,977	38,704	38,222
	実績値	39,709	39,122	38,364	38,843	38,927
	達成度	98.82%	98.80%	99.02%	99.00%	98.98%
② 成果指標(指標名)	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(g)					
	指標の設定理由	他の自治体の状況と比較が容易であるため				
	目標値	385	375	447	445	443
	実績値	458	453	439	444	448
	達成度	98.81%	98.79%	99.02%	99.00%	98.99%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	328,881	325,575	321,251	327,112	324,510	
	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	328,881	325,575	321,251	327,112	324,510
② 人件費(千円)	113,871	117,175	97,940	98,620	97,472	
	正規	14.4	15.4	11.8	11.8	
	会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	3,135	289	8,850	8,940	9,090
		1.1	0.1	3.0	3	
合計コスト①+②	442,752	442,750	419,191	425,732	421,982	
前年度比	—	100.0%	94.7%	101.6%	99.1%	

事務事業評価票

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市一般廃棄物処理計画に基づき、ごみの排出実態を的確に把握し、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 家庭系・事業系可燃ごみの組成及び食品ロス調査の実施  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止
- 事業系ごみの減量の推進
  - 事業所への廃棄物の適正排出指導(51社)
  - 企業団体・組合への訪問(20団体)
  - 事業系ごみの分け方・出し方の配布(配布部数:690部)
- 資源物の収集運搬に係る事務  
品目:金属類、紙類、布類、びん類、ペットボトル、小型家電、廃食用油
- 資源物の排出環境の整備
  - 松本市リサイクルセンターの運営
  - 紙類常設回収場所の設置(32カ所)
  - 資源物集団回収実施団体への助成(回収量:1,153トン)
  - 有価資源物リサイクル事業を実施した町会への助成(回収量:4,015トン)
- 生ごみ等の再資源化の推進
  - ごみ減量機器購入補助(130件)
  - 生ごみ堆肥化講習会の開催(3回)・感染症拡大防止の観点から3回中止
- 生ごみの水切り袋の作成・配布  
出前講座、リサイクルセンター視察等にて配布(配布枚数:500枚)

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充 **継続** 縮小・廃止  
 ・民間事業者による資源物回収ボックスの設置が多くなり、市として回収する資源物量が減少してきている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、集団回収量も減少した。  
 ・市が行う資源物のステーション回収を安定的に実施するためには、町会の協力が不可欠である。今後も協力を得るためには、町会への助成に直結する町会ステーション回収量を維持する必要がある。

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの減量を目的とした事業であるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,777	84,618
実績値	91,793	89,793	88,318	89,538	87,292
達成度	102.8%	103.4%	100.0%	103.2%	103.2%
② 成果指標(指標名)	リサイクル率(%)				
指標の設定理由	資源物の収集量の指標となるもの				
目標値	26.5	28.2	12.0	12.0	12.0
実績値	11.9	11.2	10.7	10.6	10.1
達成度	44.9%	39.7%	89.2%	88.3%	84.2%

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	183,882	180,624	180,037	197,057	207,979
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	183,882	180,624	180,037	197,057	207,979
② 人件費(千円)	26,888	25,841	37,385	37,642	37,181
正規	24,608	23,529	34,730	34,960	34,454
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	2,280	2,312	2,655	2,682	2,727
合計コスト①+②	210,770	206,465	217,422	234,699	245,160
前年度比	—	98.0%	105.3%	107.9%	104.5%

事務事業評価票

事務事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業
-------	------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

ごみ処理関連施設(エトピア山田、松本クリーンセンター)周辺の環境整備を行うとともに、事業に関連するその他の市施設の保守点検・改修等の維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 施設整備事業
  - エトピア山田周辺環境整備
    - エトピア山田西側斜面樹木伐採工事
    - 桜街道関連工事(雑木伐採、路肩整備)
- 周辺環境整備支援事業
 最終処分場周辺住民が行う環境保全、環境整備などの活動に対する支援
- 公民館等維持管理
  - 山田公民館、山田会館、平瀬川西公民館 建築物定期点検
  - 平瀬川西公民館エアコン等設備改修工事、掲示板設置工事

<現状に対する認識>

第11次基本計画での方向性 拡充・**継続**・縮小・廃止  
 迷惑施設である廃棄物処理施設の受け入れに対して理解をしてもらうためには、施設周辺の環境整備は今後も行っていく必要がある。

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		38,511		6,145		9,862		6,567	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		38,511		6,145		9,862		6,567	
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	11,915	人工	11,996	人工	8096	人工
正規	7,690	1.0	7,590	1.0	11,325	1.5	11,400	1.5	7490	1.0
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	0		0		590	0.2	596	0.2	606	0.2
合計コスト①+②	7,690		46,101		18,060		21,858		14,663	
前年度比	—		599.5%		39.2%		121.0%		67.1%	

事務事業評価票

事務事業名	塵芥埋立処理
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥埋立処理費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
一般廃棄物最終処分場の適正な管理運営を行い、安定的な廃棄物の処理を行うとともに、周辺環境負荷の軽減を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 最終処分場管理運営事業
(1) 埋立作業
(2) 施設維持管理業務
(3) 水質検査等環境調査

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充(継続)・縮小・廃止
・エコトピア山田は令和3年度から行う再整備により現処分場は埋立終了となるが、浸出水などの管理は引き続き適正に行っていく必要がある。
・安曇及び奈川一般廃棄物最終処分場については、引き続き適正な管理を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	一般廃棄物処分場への灰埋立量(t)				
指標の設定理由	市内最終処分場への埋立て実績を示すため				
目標値	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
実績値	5,869	5,704	5,337	5,750	5,661
達成度	102.1%	99.2%	92.8%	100.0%	98.5%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	293,939	226,920	223,276	218,899	54,878
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	293,939	226,920	223,276	218,899	54,878
② 人件費(千円)	29,566	30,792	32,490	34,244	29,422
正規	26,146	27,324	27,180	28,880	23,968
会計年度任用(フルタイム、パートタイム1・2類)	3,420	3,468	5,310	5,364	5,454
合計コスト①+②	323,505	257,712	255,766	253,143	84,300
前年度比	—	79.7%	99.2%	99.0%	33.3%

事務事業評価票

事務事業名	し尿処理業務
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	し尿処理業務費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
水洗化ができない地域にある市営施設等の環境を維持するため、し尿の収集運搬を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
主に運動公園等の外便所や文化財発掘現場など、水洗化されていない市管理施設等のし尿収集を実施する。
1 汲取り実施箇所 14カ所

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 拡充・ <b>継続</b> 縮小・廃止
・水洗化できない市管理施設等に対応するため、バキューム車を保有し、汲み取りを実施していく必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞										
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
① 事業費(千円)	38	38	33	31	60					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38	38	33	31	60					
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工	1,498	人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2	1,498	0.2
会計年度任用(アルバイト、パートタイム1・2類)	0		0		0		0		0	
合計コスト①+②	1,576		1,556		1,543		1,551		1,558	
前年度比	—		98.7%		99.2%		100.5%		100.5%	



事務事業評価票

事務事業名	エコトピア山田再整備事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	エコトピア山田再整備事業費

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	R元 ~ R8
エコトピア山田の今後の長期使用に向けて、より安全な施設とするため、現在の埋立地を再整備し、一般廃棄物の安定的な処理を行うもの。 また、現在、エコトピア山田で処理・処分している一般廃棄物を、再整備期間中は民間業者に全量委託を行い、引き続き安定的な処理を行う。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 エコトピア山田再整備事業 (1) 再整備全体基本計画を策定 (2) 令和3年度に実施する既存廃棄物片寄せ工事詳細設計を実施 (3) 環境影響評価に着手(令和6年度まで) (4) 外周水路付替え工事着手(令和3年度まで)
2 エコトピア山田再整備事業に伴う一般廃棄物処理事業 (1) 令和3年度以降の灰及び埋立ごみ全量の搬出先を決定 灰資源化・処分:10社 埋立ごみ:1社 (2) 最終処分場の延命化のため灰を民間事業者で資源化・処分 ア 焼却灰 (ア) 資源化 1,613トン(焼成(埼玉県、三重県)、溶融(茨城県、愛知県)、セメント原料化(新潟県)) イ 飛灰 (ア) 資源化 639トン(焼成(埼玉県)、溶融(愛知県)) (イ) 委託埋立 2,601トン(三重県、秋田県)

＜現状に対する認識＞
第11次基本計画での方向性 (拡充)・継続・縮小・廃止 ・市として一般廃棄物の安定的な処理を行うため、着実に施設の再整備を行う必要がある。また、工事は周辺環境及び安全に配慮して実施する。 ・再整備事業に対する施設周辺住民の理解を得るために、地区で課題となっている地域の活性化に対して、市として取り組む必要がある。 ・令和3年度以降の再整備期間中は市内における埋立処分が行えないことから、当該処分場で処理している一般廃棄物全量を民間事業者で適正に処理する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	一般廃棄物処分場への灰埋立量(t)				
指標の設定理由	市内最終処分場への埋立て実績を示すため				
目標値	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
実績値	5,869	5,704	5,337	5,750	5,661
達成度	102.1%	99.2%	92.8%	100.0%	98.5%
② 成果指標(指標名)	灰資源化量(t)				
指標の設定理由	最終処分場の負荷を軽減するための灰資源化の実績を示すため				
目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
実績値	1,950	2,047	2,221	2,114	2,252
達成度	102.6%	107.7%	116.9%	111.3%	118.5%

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0	0	0	41,719	385,183
国・県					3,263
利用者負担金					
その他					
一般財源				41,719	381,920
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工	0
正規	0	0	0	6,080	0.8
会計年度任用(フルタイム、パートタイマー・2類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	0	0	0	47,799	403,908
前年度比	—	—	—	—	845.0%